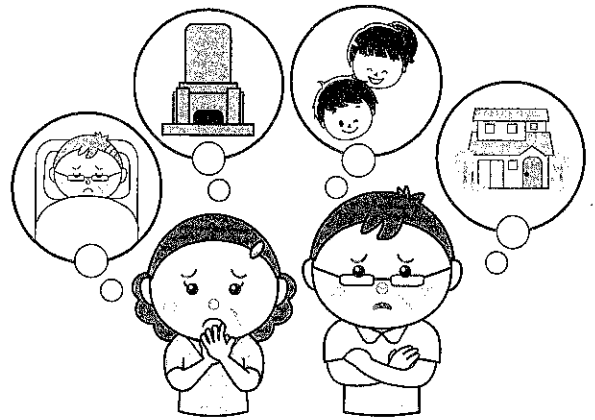


2021年度の年金額改定は実施しないことを求める緊急請願署名

衆議院議長 様
参議院議長 様

2020年は、新型コロナウイルスの感染拡大が世界的に広がり、経済活動の低下、失業者・企業倒産数増加など、暮らしに直結するさまざまな影響が深刻化しています。政府は、経済的な支援を打ち出し実施していますが、今後の動向はまだまだ未知数です。



政府は、2004年に年金改定をおこないマクロ経済スライドを導入しました。その後2018年度からマクロ経済スライドによる調整ルールを見直し、景気後退期のスライド調整未実施分を翌年以降に繰り越して年金額を引き下げるキャリアオーバー制度を導入しました。さらに2021年度からは物価が上昇しても賃金が下落した場合は、賃金にあわせて年金額を改定するということが決められました。

その結果、2020年度は2019年の物価上昇率0.5%であったにもかかわらず、賃金上昇率0.3%のため、0.3%からマクロ経済スライド調整率0.1%を差し引き、年金額改定率は0.2%となり実質マイナスでした。年金額は毎年のように目減りしていくことになります。

現在、年金受給者は4千万人を超え、多くの高齢者が年金収入で生計を維持しています。高齢者は、地域の消費経済に大きく貢献しています。

請 願 項 目

新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言の発令により、経済活動の低迷、失業者の増加など社会生活が破壊され賃金、物価の低下が予測されます。2021年度の年金額改定（引き下げ）は実施しないで下さい。

氏 名	住 所

取り扱い団体：全日本年金者組合神奈川県本部

横浜市中区不老町2-8 不二ビル2F ☎045-663-4061

各 位

2020年6月30日

全日本年金者組合神奈川県本部
執行委員長 杉沢 隆宣

2021年度年金額改定を実施しないよう求める緊急署名のお願い

日頃の貴組織のご活躍に敬意を表します。また、年金者組合へのご支援・ご協力にお礼を申し上げます。

新型コロナウイルスの蔓延は、雇用をはじめ、地域の暮らし・営業、教育、医療・介護など様々な分野の問題を可視化しました。多くの高齢者は、年金をくらしの糧としています。年金は、少子・高齢化を口実に制度が改悪され、年金額は毎年切り下げられています。

このような情勢のもとで来年度は、消費者物価や労働者の賃金引上げが予断を許さない状況にあります。年金者組合は、若い人も高齢者も安心できる年金制度の確立を求める立場から、緊急の国会請願署名のとりくみを行うことにしました。

ご多忙のところと存じますが、ご協力をどうぞよろしくお願い致します。

なお、昨今の請願署名に対する審査が厳しくなっており、氏名、住所の「ㇿ」はできません。また、住所は「神奈川県」からご記入ください。お手数かけますが、よろしくご配慮をお願いします。

記

1. 署名とりまとめ期間

第一次しめきり 8月末日

最終しめきり 10月末日

2. 署名提出時期 来年度予算が議題となる秋の国会

3. 送付先 全日本年金者組合神奈川県本部

〒231-0032 横浜市中区不老町2-8 不二ビル2階

電話 045-663-4061

以上